

【出エジプト記 34 章】

「あなたとともにいるこの民はみな、主のわざを見るであろう

わたしがあなたとともに行くことは 恐るべきものである。」(10 節)

このみ言葉は昨年(2014 年 11 月～2015 年 10 月)に与えられたみ言葉ですネ。

神のみ前で言葉を受けて、神の指で書かれた十の戒めを受けて山を下りたモーセは、下で金の子牛を作って飲めや踊れやとどんちゃん騒ぎをしているのを見て、十戒の書いてある石の板を投げつけて粉々にします。(32 : 29) イスラエルの民は、偶像礼拝をしたのです。神は激しく怒られました。しかしモーセはそんな人々のためにとりなし神に祝福を祈ります。これがイエス・キリストの救い・贖いです。

私達もまた、このような者です。神のみ前に正しいという人は一人もいません。様々な問題が起こる時、「ああどうしてこんなことが起こってしまうのだろう! ダメだ!」と自分の弱さを知らされ、自分の信仰のなさを知らされますが、それがスタートです。そう思わないのは本当の自分を知っていない人です。しかしそのダメな、恵みを受ける資格のない者に神は祝福を与えられたのです。これが福音です。問題が起こった時、同じ信仰をしていても、ただ救われた人と、起こされた問題を通して、人知をはるかに越えた恵みを受ける人がいます。この違いは何でしょうか?その恵みを受ける「カギ」があるのです。

それは「聞き従い」「すべて感謝」「賛美隊」神様のことを第 1 にすることです。

まず神の言葉を受けることが第 1 です。1 月 1 日に与えられた言葉は「どうしても必要なことは一つだけです。」とイエス様が言われました。それは、神の言葉を聞くということです。神の言葉が「道」だからです。そして聞き従います。第 2 に「感謝」です。すべての事を感謝しましょう。問題が起こった時に信仰を失う人と、かえってその問題を通してさらに大きな恵みと祝福を受ける人がいます。問題が起こされたそのことを感謝するのです。それはその問題の奥に神様が愛のご計画を持っておられるからです。命をくださったほどの無償の愛をくださった神様は私たちに最高の祝福をお与えになりたいのです。2 人の余命宣言を受けていた末期がんの方が感謝して神の言葉を毎日 100 回告白して癒されたのです! そして 3 番目は「賛美」することです。賛美の中に主は住まれ、神のみ手が動くのです。神様は私達を賛美隊として立てられました。どこまでも賛美して神の栄光を表してゆきましょう。

TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the **F**irstborn who are **R**egistered in **H**eaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:ダニエル大重



Siloam

2016 年 1 月 3 日 No.874b

(シロアム:遣わされた者 ヨハネ 9:7)

新年度の御言葉

ルカの福音書 3:2~4

「神のことばが、荒野でザカリヤの子ヨハネに下った。」 2 節

「主の道を用意し、主の通られる道をまっすぐにせよ。」 4 節



主の十字架クリスチャンセンター The **L**ord's **C**ross **C**hristian **C**enter

<http://tlcccrh.astone-blog.jp/>